

おおむた 市議会だより

第233号

令和7年度
臨時会・6月議会

令和7年(2025年)8月1日発行

インターネット議会中継配信中
過去の録画*も視聴できます

大牟田市議会

検索

※過去5年度分

右のQRコードで
スマートフォン・
タブレットでも
見れます



三池港



三池炭鉱専用鉄道敷跡

10周年を記念してライトアップされた宮原坑



「明治日本の産業革命遺産」
7月で世界文化遺産登録から10周年

【主な記事】

- 副議長を選出、委員会のメンバー構成を変更／ぎかいの話題(2ページ)
- 代表質問・一般質問(4～9ページ)

新たに副議長が選出され、新体制のスタート

市議会第1回臨時会を5月28日に開催し、各常任委員会等の新たな構成が決まりました。

また、古庄和秀前副議長の辞職に伴う副議長選挙も行われ、塩塚敏郎副議長を選出し、この新たな体制でこれからの約2年間、議会活動が行われます。



徳永 春男
議長

市民の負託を受け、新しい委員会構成のもとで、より良い議会活動に努めてまいります。

さて、本市では少子高齢化が進み、特に少子化は深刻な問題です。若者、子育て世代の定住を最も重要な課題と認識し、関連するあらゆる施策の実施が急務であり、そのため

にもさらなる広域連携（有明圏域定住自立圏）による取組を進めていく必要があると考えています。



塩塚 敏郎
副議長

第46代大牟田市議会副議長に就任いたしました塩塚敏郎です。急速に進む少子高齢化、人口減少・自然災害など本市を取り巻く環境は激変しており、市民の暮らしと生命を守る議会としての役割はとても重要なものとなっています。

徳永議長を補佐し、本市の発展と市民福祉の向上、議会の公正かつ円滑な運営のため、全力で責任を果たしていきます。

委員会のメンバー構成及び所管事項 ～委員会は2回にわたって紹介します～

大牟田市議会にある三つの常任委員会を紹介します。

行政の取組は議案をはじめ内容が多岐にわたり、複雑・多様化しているため、各常任委員会では、専門的に詳しく審査・調査をしています。議員は、いずれかの常任委員会に所属します。



総務委員会

【委員長】山口雅夫^自
【副委員長】奥村橋倫^護
森遵^自、森竜子^自、古庄和秀^護
塩塚敏郎^公、崎山恵子^無

—所管部局—

防災危機管理室、企画総務部、会計課、市民部、環境部、消防本部、市議会事務局、監査委員事務局、公平委員会事務局、選挙管理委員会事務局



市民教育厚生委員会

【委員長】三宅智加子^公
【副委員長】江上しほり^自
中原誠悟^自、光田茂^自、櫻井ちはる^護
船原基近^護、山田修司^公、北岡あや^無

—所管部局—

市民協働部、教育委員会、保健福祉部、福祉事務所



都市経済委員会

【委員長】松尾哲也^護
【副委員長】豊福達也^自
桑原誠^自、徳永春男^自、森田義孝^護
大野哲也^公、平山伸二^公、山田貴正^無

—所管部局—

まちなか活性化推進室、都市整備部、企業局、産業経済部、農業委員会事務局

※(名前後は所属党派)自: 自由民主党市議団、護: 民主・護憲クラブ、公: 公明党議員団、無: 無所属

園児たちからの贈り物

6月の第2日曜日の花の日にあわせて、高取聖マリア幼稚園の園児から、正副議長が議会を代表して花束と手紙をいただきました。子供たちの元気な声、笑顔に癒され、議員一同、改めて子供たちの将来を見据えたまちづくりを頑張らなくてはならないと感じたところです。



本会議運営のあらまし

■各委員会の構成変更、副議長に塩塚敏郎議員を選出

臨時会

令和7年度第1回臨時会は、5月28日に招集され、1日の会期で運営されました。

臨時会では、大牟田市監査委員の選任1件及び専決処分議案2件を全て全会一致で同意、承認しました。

また、各委員会の構成変更及び正副委員長の選出等を行い、最後に古庄和秀前副議長の辞職に伴う副議長選挙を行い、新たに塩塚敏郎副議長を選出しました。

■令和6年度一般会計補正予算など可決

6月議会

令和7年度6月議会は、6月16日に招集され、6月27日までの12日間の会期で運営されました。

6月議会で審議した議案等は予算議案1件、条例議案8件、その他の議案1件、報告8件、大牟田市公平委員会委員の選任1件及び意見書案の発議6件の計25件でした。

本会議では、12人の議員が登壇し、三池港の整備状況や物価高騰対策などの諸課題について、市長をはじめ当局に質問しました。

本会議最終日までに、意見書案の発議1件を除いた議案、発議をそれぞれ可決、同意して本会議を閉会しました。

議会日誌（4月～6月）

- 【4月】 8日 各派代表者会
11日 広報広聴委員会広報部会
25日 市民教育厚生委員会、都市経済委員会、各派代表者会
- 【5月】 21日 各派代表者会、議会運営委員会
28日 各派代表者会、議会運営委員会、第1回臨時会本会議〔開会、採決、閉会〕、総務委員会、市民教育厚生委員会、都市経済委員会、議会運営委員会、広報広聴委員会
- 【6月】 9日 各派代表者会、議会運営委員会
10日 総務委員会
11日 市民教育厚生委員会
12日 都市経済委員会
16日 第2回定例会本会議〔開会〕、広報広聴委員会広報部会、広報広聴委員会広聴部会
20日 本会議〔質疑質問〕
23日 本会議〔質疑質問〕
24日 本会議〔質疑質問〕、請願等調整委員会
25日 総務委員会、市民教育厚生委員会、都市経済委員会、広報広聴委員会広聴部会
27日 各派代表者会、議会運営委員会、本会議〔採決、閉会〕、広報広聴委員会広報部会

委員会メモ

世界文化遺産
「明治日本の産業革命遺産」
登録10周年記念事業について

【総務委員会】

6月10日の委員会で、宮原坑や三池港などを構成資産に含む「明治日本の産業革命遺産」が、令和7年度にユネスコ世界文化遺産登録10周年を迎えるに当たり、その魅力を再認識する機会とするため、記念事業を行う旨の説明を受けました。

宮原坑のライトアップやシンポジウム、8県11市カードラリー、10周年記念のつどいなど様々な記念イベントが行われる予定です。

大牟田文化会館等の
駐車場の整備について

【市民教育厚生委員会】

6月11日の委員会で、大牟田文化会館、カルタックスおおむた及びおおむたアリーナの利用者のために、デンカ株式会社大牟田工場の社有地を5年間借用（自動更新あり）し、市が駐車場として整備する旨の報告を受けました。

整備後は、イベント開催時など既存の駐車台数を超えることが想定される場合に、臨時駐車場として開放し、利用いただく予定です。

生活交通確保実証事業
支援金について

【都市経済委員会】

6月12日の委員会で、令和4年10月から玉川校区で行っている「玉川のりあいタクシー」において、普通免許（一種）を所持しているドライバーが運転できる公共ライドシェアの仕組みを導入した実証運行を国の補助金を活用しながら実施するとの報告を受けました。

実証運行の実施期間は令和7年9月～令和8年1月の予定です。

子どもから高齢者まで、また障害の有無に関わらず、ともに暮らす共生社会の実現に向けて



民主・護憲クラブ
古庄 和秀 議員



優生思想と共生思想が
共存する現代社会について

問 おおむたアリーナは、オープンして一年がたった。サンアピリティーズおおむたとの機能統合で、まさにインクルーシブなアリーナである。令和7年1月には、障害者の自立と政治参加をすすめるネットワークの全国大会を開催。参加された船後靖彦参議院議員は3月24日の参議院文教科学委員会において、スポーツ施設とインクルーシブ防災の観点から、国の新規事業である、スポーツコンプレックス推進事業のお手本としておおむたアリーナを紹介された。

一連の整備と全国大会での評価等も含めた市長の考えと今後の決意を伺いたい。

答 おおむたアリーナは子どもから高齢者まで、また障害の有無に関わらず、誰もが気軽に利用しやすい環境の中で市民の健康づくりや体力づくりの場として利用されている。

令和7年1月には全国大会が開催され、全国の障害当事者議員をはじめ、多くの関係者の皆様がおおむたアリーナを視察された。その際、イン

クルーシブの考え方に立って整備された様々なバリアフリー設備等に、参加者の皆様から高い評価をいただいている。

今後とも公共施設等の整備に当たっては、インクルーシブ社会の実現に向けて、当事者、関係者の意見を伺いながら進めていきたい。

問 民間事業所の合理的配慮が法的義務となる改正障害者差別解消法が施行され、1年が経過したが、合理的配慮を求める障害当事者と求められた事業者がお互いにできることを話し合っていく建設的対話が一番のポイントとなる。

改正法施行1年後の現状と課題を伺いたい。



障害のある人にもやさしいお店宣言ステッカー

答 民間事業者の合理的配慮の提供に係る費用の一部を助成する事業や、合理的配慮が行われていることを知っていただくための障害のある人にもやさしいお店宣言ステッカーを配布する事業を実施。

スロープや手すりの設置、和式トイレの洋式化に対し7件の助成を行い、市内16事業所へステッカーを配布した。

合理的配慮の提供がまち全

体に広がり、差別解消法の意義や趣旨が一層浸透していくよう、継続的に取り組む必要があるため、差別解消法の周知啓発について取組を一層進め、民間事業者を対象にした助成事業とステッカー配布事業を引き続き実施する。

次期「大牟田市健康福祉
総合計画」について

問 団塊の世代が後期高齢者になられる令和7年が「2025年問題」と言われている。

今こそ大牟田らしい総合事業や介護保険の在り方を抜本的に考える時期では。

答 次期介護保険事業計画の策定に当たり、介護を取り巻く状況や利用者の状況などを十分に踏まえ検討していく。

問 隣近所の付き合いも希薄になる中、孤立死を生まないための新たな取組が必要では。

答 人と人のつながりをつくる取組などを通して、誰もが孤立することのないまちづくりに努めていく。

中心市街地活性化に向けて

問 中心市街地活性化についての市長の決意を伺いたい。

答 中心市街地は本市の顔とも言える地域であり、まちなかの再生・活性化はまち全体の活性化につながる。

5月からスタートしたまちなか老朽危険家屋除却促進寄付受け事業を推進し、引き続きまちなかの再生・活性化にしっかりと取り組んでいく。

重要港湾三池港の早期の整備完了と公共工事の効率化



自由民主党市議団
中原 誠悟 議員



三池港の整備状況について

問 重要港湾三池港は、有明海沿岸地域の企業の様々なコンテナを扱っており、有明海沿岸道路の佐賀県までの延伸で、アクセス性が向上し、物流の効率化が図られている。

令和4年度の港湾計画の変更で小型船だまりを航路先端から内港地区に見直しており、令和5年6月議会では、令和5年度は詳細設計を行っているとの答弁がなされた。

現時点で、現地作業が進んでおらず、地元からは使い勝手がよい施設として早期の完成を望む声も上がっている。

詳細設計の進捗や現地の着手状況はどうなっているのか。

答 福岡県が行っている小型船だまりの整備は、令和5年度から詳細設計に着手し、令和4年度に利用者の意見が反映された詳細設計が完了したと伺っている。

令和7年度は、整備着手に向けた手続などが行われる。本市としても、早期完成に向けて協力していきたい。

再発言 港の利用者も早期整備を望んでいることから、福

岡県や関係者と連携して進めてもらいたい。



重要港湾 三池港

公共工事における工事関係書類の簡素化について

問 公共工事は、社会インフラとして高い品質と安全性が求められ、その整備や維持・管理の担い手は、主に建設業者である。また、建設業者は、災害時に地域の守り手にもなり、市民生活や社会経済を支える重要な役割を担っている。

しかし、建設業界を取り巻く環境は厳しく、熟練工の高齢化や若者の業界離れなどで、担い手の確保が喫緊の課題となっている。

令和6年12月議会において、工事関係書類の簡素化は、福岡県の土木工事関係書類の簡素化の手続を参考に進めており、今後も県や他自治体の取組を参考に進めるとの答弁がなされたが、進捗状況は。

答 工事関係書類の簡素化は、事業者、市の双方にとって事務軽減につながることから、今後も可能な範囲で進める必要があると考える。

簡素化に伴う課題や対応策を整理した上で、さらなる簡素化を取りまとめ、令和8年度から実施したい。

再発言 工事関係書類の簡素化は、事務の軽減に加え、労働時間の短縮につながり、担い手の確保に大きく寄与するものと考えている。

品質と確実な出来形の確認のため、必要な書類はしっかりと確保することを前提として、取組を進めてもらいたい。

工事完成書類の電子納品について

問 工事完成図書の電子納品は受注者の負担軽減、市の書類削減などメリットがあり、県内自治体の一部工事で実施されている。

以前の議会で、検討会を設置し、課題等を整理した上で検討を進めるとの答弁がなされたが、進捗状況は。

答 電子納品は、受注者、市の双方の負担軽減と生産性向上につながるため、しっかり取り組んでいく必要がある。

令和7年5月に関係部局との検討会を立ち上げるとともに、受発注者間の電子でのやり取り等を可能にするための情報共有システムの活用に向けた研修会にも参加している。

今後、検討会で課題を整理した上で、可能なものから令和8年度から実施したい。

再発言 工事完成図書の電子納品は、課題も多いと思うが、受注者、市の双方の負担軽減や生産性向上につながるものであることから、早期に課題等を整理し、可能なものから順次実施してもらいたい。

大牟田のよさや魅力を生かしたまちづくり



公明党議員団
三宅 智加子 議員



物価高騰対策

問 公明党の政策立案アンケートに寄せられた10万件を超える声を基にした政策の1番目に物価高騰対策がある。市長の考えを聞きたい。

答 国は、電気代やガソリン代などの様々な経済対策を講じている。本市では、国や県の支援策を活用し、学校給食費の負担軽減、小中特別支援学校の新入学用品の一部支援、地域の消費喚起のためのプレミアム商品券の発行など、独自の対策にも取り組んでいる。

再発言 国の重点支援地方交付金は、市民が期待する政策を精査した上で、本市独自の活用を行っていただきたい。

シビックプライド ～都市・地域に対する 市民の誇り～

問 シビックプライドは、権利と義務を持って行動する主体として、自分自身が関わって地域をよくしていこうとする自負心を指すとも言われる。人口が減っても持続可能な地域であり続ける一つの手段がシビックプライドと言えるのではないか。シティプロモ-

ーション戦略では、市民へ大牟田の良さや魅力を認識してもらうこと（インナープロモーション）により郷土への愛着や誇りを醸成し、定住する人を増やすと記載されている。市長は、本市のよさや魅力をどう捉えているのか聞きたい。

答 魅力は様々あると思うが、端的に言うと暮らしやすさと大牟田の「人」にあると思う。

問 市長が講師を務める出前授業もインナープロモーションに当たると思う。市長の感想を聞きたい。

答 小学校5・6年生を対象に「私たちのまち 大牟田を知ろう」をテーマに、炭鉱とともに発展した本市の産業が今も世界に誇れるものであることや、おいしく安全な農産物・海産物、大蛇山まつりなど、大牟田の魅力を紹介し、便利で住みやすいことなども話している。未来を担う子どもたちが自分なりの夢を持って実現するために努力する一助になれば幸いである。



倉永小学校での出前授業の様子

問 旧橘中学校の生徒達が取り組んだOMUTAジュニアシティメーカーについて聞きたい。

答 卒業生が取組を大阪・関西万博で発表できることは、SDGs/ESDの取組を全世

界に発信できる素晴らしい機会。

令和3年度から3期、4年間、石炭産業の歴史と大牟田の魅力を取り入れたシュークリームやハンバーガーなどの商品開発と販売、白銀中学校の中庭デザインの提案などの活動を通じ、自分たちにもできるという手応えと社会参加の喜びを得られた。

災害に強いまちづくり

問 排水対策基本計画の事業の進捗状況と課題を聞きたい。

答 ハード対策の主なものとしては、流す対策として歴木の樋門増設工事、ためる対策として三田堤の工事、排水する対策として三川ポンプ場の建設工事を行っている。ソフト対策としては、防災士の養成講座やスキルアップ研修の開催、地域学校における防災訓練等による地域防災力の強化に引き続き取り組んでいる。事業を着実に進めるには、物価高騰に伴う事業費の増大への対応や有利な財源の確保、技術職員の確保が必要である。

公立夜間中学校 ～宅峰中学校ほしぞら分校～

問 市外や県外からの生徒受入れについて聞きたい。

答 令和8年度からの受入れに向けて、福岡県教育委員会南筑後教育事務所と本市教育委員会構成する大牟田市立夜間中学連絡協議会で協議を進めている。



民主・護憲クラブ
奥村 橋倫 議員



大牟田市公式キャラクター「ジャー坊」の活用

問 大牟田市公式キャラクター「ジャー坊」は、本市のPRや人づくり、地域づくり、まちづくりにおける積極的な活用を推進・奨励するとされているが、現状は。

答 子どもたちを笑顔に、大牟田のイメージ・知名度の向上に、大牟田を元気という三つの目的の実現のため、イベント等への派遣のほか、ジャー坊公式SNSによる本市の魅力発信、イラストの利活用に取り組んでいる。

再発言 ジャー坊の派遣に関することについては、十分に周知を図ることが重要である。ジャー坊が、おおむたわくわく隊長として、大牟田を中心に様々な場面で盛り上げていただくように要望する。

学校の安全対策について

問 大牟田市内の学校における不審者への対応と対策は。

答 文科省が定める校門の閉鎖や防犯カメラの設置、来場者が校舎内に入る際の入り口の限定、校舎入り口における訪問者の確認と名札の着用などを行っている。また、校舎内にさすまたを常備している。

再発言 不審者の侵入を想定した実践的な避難訓練など常日頃からの安全対策の実施を。



自由民主党市議団
山口 雅夫 議員



大牟田市動物園の今後

問 動物が減少しているが、個体数や種類の将来予測は。

答 令和2年5月で51種類239頭だったが、令和7年5月では37種類153頭となり、今後高年齢化による死亡などで、

さらに減少が見込まれる。

問 現在、空いている獣舎の数や広さの状況は。

答 3施設で、旧アムールヒョウ舎82㎡、旧ホワイトタイガー舎62㎡、旧ゾウ舎175㎡。なお、旧アムールヒョウ舎は、レッサーパンダ舎としてリニューアルする。

問 ノースサファリサッポロが9月末で閉園予定だが、動物の種類によっては本市で受け入れることができるか。

答 日本動物園水族館協会に加盟している場合は、協会に

より引受先の調整等がされるが、当該園は未加盟であり、当該園と札幌市が協議し、協会に依頼をされれば、本市への受入れの打診も想定される。正式な打診があった際は、指定管理者と協議し検討したい。

問 これ以上、飼育頭数や種類の減少が進めば、ネガティブな印象を抱かれ、リピーターが見込めなくなるのでは。

答 動物減少への対応は喫緊の課題であり、早期に新たな動物の導入を実現し、魅力向上を目指したい。



公明党議員団
山田 修司 議員



AEDアプリの活用

問 AED（自動体外式除細動器）の最寄りの設置場所をスマートフォンを用いて検索できるアプリがあるが、本市の公共施設に設置のAEDをこのようなアプリに登録し、

検索できるようにできないか。

答 AEDの設置状況については、スマートフォンアプリなどの活用も含め、AED設置情報をより周知する方法について検討していきたい。

ヤングケアラー支援

問 ヤングケアラーの相談窓口、ガイドブック、サロンなど、福岡市の取組を参考に、本市でも何か取り組めないか。

答 こども家庭センターなどの相談窓口の周知啓発のほか、

対象者への個別の支援として、家庭相談員が市内の保育所等や、小中学校等を訪問し、ヤングケアラーと思われる子供を含めて、気になる家庭についての情報共有を行っており、継続した支援に取り組んでいる。

今後は、福岡市などの取組も調査し、関係機関との連携強化により、対象となる子供の把握に努め、様々な悩みを抱える家庭の状況に応じた切れ目のない支援に取り組む。

一般質問



民主・護憲クラブ
櫻井 ちはる 議員



過去を未来に変える、 活かせる資源としての 市庁舎本館について

問 市民の誇り、財産である市庁舎本館への市長の想いは。

答 今後、どんな形で活用していくのか、市民の皆様と十分に話し、御意見を交わしていく必要があると感じている。



自由民主党市議団
豊福 達也 議員



未来の学童保育及び 幼児保育について (第3子以降の保育料の無償化)

問 県は、子育て支援策として約5億3,400万円の補正予算を今定例会に提出された。

第3子以降の無償化について県からの情報・通達・連携されていることはあるか。

問 世界文化遺産と連携した資産価値向上、歴史的建築物である本館をつなぎ、近代産業都市大牟田の全体像を語れるストーリー性形成の考えは。

答 近代化産業遺産ガイドブックで本館なども紹介しており、石炭産業とともに発展した大牟田のまちの魅力を一体的に紹介することは可能。

再発言 地域経済、観光、教育に有する投資であり、市として積極的な姿勢で活かし方の検討を。また、市民と一緒に考える対話の機会を要望。

答 第1子の年齢や世帯の収入に関係なく、第3子以降の全ての子どもの保育料を無償化することや市町村への補助率が2分の1であることが示されている。

問 県が予算をつけて実施するまでの間、本市独自で前倒して実施をするつもりはあるか、市長の考えは。

答 県予算の成立後、支援内容を詳しく把握した上で、早急に検討を進めたい。

再発言 本市の姿勢として早急に進めてもらいたい。人口

市子連への子どもの加入率が 22.5%と減少、子ども会の 在り方、支援の検討を

問 19小学校区のうち10校区で子ども会未設置か市子連未加入の状況。近隣市町と比べ、支援が非常に少なく感じるが。

答 他市の状況も踏まえ、支援内容について協議していく。

地域における街頭防犯 カメラ設置補助の実施を

問 近隣自治体の状況は。

答 県下60自治体のうち13自治体で一部補助を実施。

減少のブレーキにもなり、大きなかじ取りになると考える。

新栄町駅前地区 市街地再開発事業について

問 今後の進め方として、どう考えているか。

答 事業者協議の進展にいつでも対応できるよう、都市計画変更等の法手続や国・県の補助金協議など、早期の事業推進に向けた準備を進めたい。

再発言 水面下で進んでいるものと理解する。良い兆しが見えるように努めてほしい。

答 基本計画、基本設計、実施設計及び施工の各段階においてできる限りの事業費の削減を図り、市庁舎の整備を進めていきたい。

孤独・孤立対策に向けて

問 重層的支援体制整備事業計画に盛り込む支援体制が必要では。

答 健康福祉推進会議で総合的な視点から孤独・孤立対策についても協議をお願いし、市として取組を進めたい。



民主・護憲クラブ
船原 基近 議員



市財政の在り方について

問 2025年度末の市の地方債残高は約502億円の規模だが、市税収入約150億円、歳入割合23.7%の財政上の問題は。

答 今後庁舎建設等で市債残高が増加することも見込まれ

るため、公債費が財政を圧迫しないよう、事業費の精査等によって実質的な公債費負担の抑制に努めたい。

新市庁舎整備に関する 基本計画策定について

問 基本計画策定段階での情報発信と意見聴取の方法は。

答 今年度から市職員出前講座のメニューに追加するなど、市民の皆様に分かりやすい丁寧な説明を行っていききたい。

問 本気で事業費の削減を求めるが、市長の見解は。



自由民主党市議団
桑原 誠 議員



公立学校体育館の
空調設置整備について

問 国は、子供たちの学習生活の場であるとともに、災害時には避難所として活用される学校体育館について、避難所機能を強化し、耐災害性の向上を図る必要があるとして

いる。
そのため、空調設備整備臨時特例交付金を新たに新設し、令和17年度までに全国の空調設置率を95%に引き上げるという目標を設定している。

本市では、学校給食調理室の空調の整備も行われるところであるが、体育館の空調設備の整備についても早急に検討を行ってもらいたいと思う。教育長の見解は。

答 体育館への空調設備の設置については、PTAからの陳情や避難所として体育館を

利用される地域の方々から要望をいただいている。

また、国においても令和17年度までに体育館等における空調設備設置率95%の目標が掲げられ、補助率のかさ上げ、地方財政措置の充実、光熱水費の普通交付税措置など、これまでになく充実した支援策が準備されていることも承知している。

必要となる予算や国・県の支援内容、さらには他市の動向なども踏まえ、総合的に検討したい。



無所属
崎山 恵子 議員



物価高騰への支援として
水道料金の減免を

問 物価高騰に対する全市民への支援として、水道料金の減免が最も公平だと考えるが。

答 多額の財源が必要なことから実施する予定はない。

再発言 以前も同様の回答だ

ったが、その後3か月間、約1億1,000万円の予算で水道料金の半額減免を実施された。再度、減免の実施を要望する。

物価高騰で負担が
増している消費税について
減税の要望を

問 消費税は低所得者ほど負担が大きい税金。消費税の減税を国に求めている。

答 持続可能な社会保障制度の確立のために必要な財源であり、慎重に判断すべき。

再発言 社会保障の財源は、法人税や所得税でもよい。大

企業や富裕層への減税を元に戻すよう、国へ要望されたい。

少ない年金を補う
生活保護の制度活用を

問 低年金で暮らす高齢者は、物価高騰で悲鳴を上げている。広報おおむたに、生活保護制度の紹介や、無料相談のお知らせを掲載しないのはなぜか。

答 相談窓口等の掲載については、今後検討していく。

再発言 最低限の生活保障は国民の権利。偏見や誤解が解消されるような広報の検討を。



無所属
山田 貴正 議員



二地域居住

問 令和6年11月に改正広域的地域活性化基盤整備法が施行された。これはライフスタイルの多様性を背景に、高まる二地域居住への具体的な地域活性化へとつなげるための

法整備だが、市の受け止めは。

答 移住・定住の促進、関係人口の創出に向け、様々な施策に取り組んでいる。

今後、二地域居住などの新たな考え方を施策にどう生かしていくか検討を進めたい。

再発言 この二地域居住という視点をシティプロモーション戦略に盛り込み、新たな関係人口の創出につなげてほしい。

鳥獣被害対策
システムの活用

問 イノシシ等の野生鳥獣による被害を防ぐため、県民の目撃情報や県の捕獲記録を地図上に集約する福岡県鳥獣被害対策システムが令和7年1月から運用開始された。

このシステムを活用した現状把握について市の考えは。

答 本市においては、寄せられた有害鳥獣の出没情報を基に、愛情ねっとや公式LINEで注意喚起を行っている。

今後は、システムも活用して市民等への周知を強化し、有害鳥獣対策に取り組む。

議案等の審議結果

議案等名	議員名														賛成数	審議結果										
	自由民主党市議団				民主・護憲クラブ				公明党議員団				無所属													
	中原誠悟	江上しほり	桑原誠	徳永春男(議長)	豊福達也	光田茂	森遵	森電子	山口雅夫	森田義孝	奥村橋倫	櫻井ちはる	船原基近	古庄和秀	松尾哲也	大野哲也	塩塚敏郎	平山伸二	三宅智加子	山田修司	北岡あや	崎山恵子	山田貴正			
6月議会 発議 第1号	医療機関の事業と経営維持のための診療報酬の期中改定及び緊急財政支援措置を求める意見書案	×	×	×	-	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	×	8	少数否決	
発議 第2号	子どもたちのゆたかな学びの保障と学校の働き方改革の確実な推進に係る意見書案	×	×	×	-	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	13	多数可決
発議 第3号	米価の抑制及び米の安定供給を求める意見書案	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	20	多数可決
議案 第11号	大牟田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	20	多数可決
議案 第12号	大牟田市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	20	多数可決

■大牟田市議会では、採決に起立採決を採用しています。起立採決は、議長が議案等に賛成の意思のある議員に起立を求めます。一覧表については、起立した議員を○と表記し、それ以外の議員を×と表記しています。また、空白は欠席または表決の棄権を表します。なお、議長は採決に加わるできません。

下記議案等については全員賛成で同意、承認、可決。

臨時会	議案 第1号	大牟田市監査委員の選任について〔古庄和秀議員〕
	議案 第2号	専決処分について（令和6年度大牟田市一般会計補正予算）
	議案 第3号	専決処分について（大牟田市市税条例の一部を改正する条例）
6月議会	議案 第4号	令和7年度大牟田市一般会計補正予算
	議案 第5号	大牟田市附属機関設置条例の一部を改正する条例の制定について（大牟田市庁舎整備基本構想策定審議会の廃止）
	議案 第6号	大牟田市附属機関設置条例の一部を改正する条例の制定について（大牟田市企業競争力強化促進補助事業審査委員会の設置）
	議案 第7号	大牟田市選挙管理委員会が管理執行する選挙等における選挙長等の報酬及び費用弁償条例の一部を改正する条例の制定について

6月議会	議案 第8号	大牟田市職員の勤務等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について
	議案 第9号	大牟田市市税条例の一部を改正する条例の制定について
	議案 第10号	大牟田市健康福祉推進会議条例の一部を改正する条例の制定について
	議案 第13号	請負契約の一部変更について（大牟田市橘中学校再編校舎増築、擁壁築造等工事）
	議案 第14号	大牟田市公平委員会委員の選任について〔森田敏靖氏〕
	発議 第4号	地方消費者行政に対する恒久的な財源確保等を求める意見書案
発議 第5号	事前復興まちづくり計画の策定支援を求める意見書案	
発議 第6号	米国の関税措置に対応した中小企業等支援策の拡充を求める意見書案	

※議案第1号については、古庄和秀議員を除く（除斥）

インフォメーション

■次の定例会は9月です

詳細については、議会事務局（41-2800）までお問い合わせください。また、ホームページでもお知らせします。

スマートフォン等でも議会中継（生中継・録画中継）が視聴できます。



■傍聴のお知らせ

本会議の傍聴ができます。傍聴席へは、市役所本庁舎中庭入口（1階）または市民生活課（2階）奥の階段からお上がりください。インターネットでも、生中継、過去の録画（過去5年度分）を視聴できます。

■会議録の閲覧

本紙掲載の代表質問と一般質問は、質問議員自らが要約したものです。詳しくは市立図書館、情報公開センターで9月上旬から閲覧できる会議録をご覧ください。ホームページでも9月上旬から閲覧・検索できます。

編集後記

市政をもっと身近に、暮らしに寄り添う議会の姿をお伝えしたい！そんな思いで丁寧に編集してきました。

日々の暮らしや地域の声をしっかり届けるため、これからも心を込めて発信してまいります。（E）

■編集 広報広聴委員会広報部

【委員長】山田修司 【副委員長】江上しほり
【委員】森遵 古庄和秀

■発行 大牟田市議会

〒836-8666 福岡県大牟田市有明町2丁目3番地
TEL 0944-41-2800 FAX 0944-41-2880
E-mail e-gikaijimu01@city.omuta.fukuoka.jp

■印刷 株式会社 江崎印刷所